

病院歯科・口腔外科 医療用語集

- 第1章 医局・医療スタッフ
- 第2章 診療科名
- 第3章 病院・医療
- 第4章 病歴関連用語
- 第5章 治療方針
- 第6章 解剖学用語
- 第7章 病理組織学的診断
- 第8章 腫瘍に関する用語
- 第9章 再建術
- 第10章 画像診断
- 第11章 現症
- 第12章 既往歴・疾患名
- 第13章 感染症
- 第14章 歯科・口腔外科の病名
- 第15章 薬物療法
- 第16章 薬剤
- 第17章 輸血・骨髄移植
- 第18章 注射法
- 第19章 化学療法
- 第20章 免疫療法・分化誘導療法
- 第21章 処置・治療
- 第22章 器材
- 第23章 バイタルサイン
- 第24章 尿検査
- 第25章 クレアチンクリアランス
- 第26章 血液ガス分析
- 第27章 臨床検査
- 第28章 腫瘍マーカー
- 第29章 放射線療法
- 第30章 食事療法
- 第31章 看護用語

デンタルオフィスみなと 1st edition 1998.6.19

英：英語 独：ドイツ語 ラ：ラテン語 仏：フランス語 同：同義語 略：略語 例：使用例
形：形容詞 関：関連事項 反：反対語 和：日本語 和製英：和製英語 商：商品名
注：注意事項

第4章. 病歴関連用語

(1) 入院・退院

エント(ENT)

治癒退院

軽快退院

不変退院

死亡退院

入院

独歩入院

入院期間

入約(にゅうやく)

DOA

Entlassen(エントラッセン)[独]退院 discharge[英]

leave hospital of recovery[英]

leave hospital of lighthearted[英]

leave hospital of unchangeable[英]

leave hospital mortality[英]

admission[英] Aufnahme(アウフネーメン)[独]

Aufnahme(アウフナーメ)[独]

入院の形態には、予約入院と緊急入院がある。

admission on foot[英]移動時に介護を要せずひとりで歩いて

入院すること。

hospitalization[英]

入院予約のこと。

dead on arrival[英]死亡来院、来院時死亡

医療施設搬入時点で呼吸と心拍動が停止している患者。DOAから

完全社会回復率は、我が国では約1%と欧米諸国に比べて非常に

低率であるため、病院前救護(プレホスピタルケア

prehospital care)の充実が重要視されており、平成4年から救

急救命士が活動を始めている。

(2) 患者

アウトパシエント

インパシエント

オペ患

急患

クランケ

護送患者

担送患者

F

M

P t

out-patient[英]外来患者

in-patient[英]入院患者

手術を目的として入院してきた患者、または手術が終了した患者。

emergency case[英]

Kranke[独]患者 patient[英] Ptの項参照。

移動時に介護を要する患者¹⁾ (関)護送入院

移動時に、ストレッチャーや車いすで運ばなければならない患者¹⁾ (関)担送入院

female[英]女

male[英]男

patient(パシエント)[英]患者 Kranke(クランケ)[独]

英語のpatience(忍耐)は、ラテン語のpatior(受ける、被る、耐える)

に由来する。patientは、“苦痛をじっと耐えている人”の

意味である。

(3) 病歴関連用語

悪化

アナムネ

impairment, deterioration[英]

anamnesis[英]問診 Anamnese(アナムネーゼ)[独]病歴、既往症

“病歴をとる(history taking)”内容は、大きく分けて①現病歴、

②既往歴、③家族歴の3つになる。これら3つをまとめて、広い

意味での既往歴(anamnesis)とよぶこともある。

◇ギリシャ語で“記憶をよみがえらせること”を意味するアナムネーシスanamnesisに由来し、これから転じて医学では過去の

病気の思い出、すなわち“既往症、病歴”の意味に用いられる

31)。

医学的検査

疑い

オンセット

家族歴

カルテ

medical examination[英]

suspicion[英]疑い (略)susp.

onset[英]病気の発病日のこと

family history (FH)[英]

Karte[独]病歴カード

medical history, medical record[英]病歴

クリティカル

経過

順調

入院中の経過

病気の経過

critical[英]危篤の、危機の

progress[英]

uneventful[英]

hospital course[英]

progress of disease[英]

結婚歴
現症
現病歴

marital history (MH)[英] spouse[英]配偶者
present condition[英]現症の項参照。
present illness (PI)[英]

(例)心筋梗塞のために入院された患者さんの例。
20年前より高血圧を指摘されていた。1年ほど前より労作時に胸痛を自覚するも放置していた。半年前より胸痛は頻繁に起こるようになり、近医受診したところ狭心症の診断にて、medicationにてfollowされていた。昨日、突然胸痛出現し、ニトロにても症状改善せずQQ車にて当院に搬送された。その後胸痛は治まったが、精査加療目的に当科入院となる。

患者さんの表現	カルテ記載例
近くの医者にかかった	近医を受診した
近くの内科	近内科、近医内科
近くの歯科	近歯科、近医歯科
自分で治療した	自家治療を行った
痛みがひどくなった[軽くなった]	疼痛が増大した[軽減した]
転んで顔を強くぶつけてけがをした	転倒した際に顔面を強打して受傷した
顔を殴られた	顔面を殴打された
気を失った[失いかけた]	意識が消失した[混濁した]
体がだるい	倦怠感を生じた
風邪を引いた	感冒様症状が出現した
鼻水が出た	前鼻漏が生じた
何もしなかった	放置した
できものができた	腫瘍を生じた

誤診
再来
時期
システムレビュー

wrong diagnosis, misdiagnosis[英]
revisit[英]同一診療機関における2回目以降の受診。
stage[英]
review of systems (ROS)[英]問診とは独立して、各臓器別に患者の最近の隠れた病歴を聴取すること。general system reviewとしては、発熱、体重減少、盗汗、食欲などが含まれ、その他は臓器別の問診事項となる。

主訴
紹介状

chief complaint (CC)[英]
letter of introduction[英]
◇ 敬称について
先生、貴院、貴科、〇〇科外来担当医殿、〇〇科主治医殿、御担当先生、〇〇先生御侍史、〇〇先生御机下など。〇〇先生侍史、〇〇先生机下でも一般的には十分に丁寧だが、さらに御をつけて御侍史、御机下とすることが多い。また、アルバイト先の病院から患者を自分の本勤務先の病院に紹介し、自分自身が診療する場合、「〇〇病院〇〇科外来御中」などとする。英文では、To whom it may concern(関係各位殿)、Dear Dr.〇〇など。

◇ 終わりの挨拶
「御高診頂けましたら幸甚に存じます」
「御高診ならびに御加療頂けたら幸いです」
「貴科的御高診の程よろしく願いいたします」
「御紹介いただきましてありがとうございました」

職歴
初診
重篤な
寿命
平均寿命

occupational history (OH)[英]
first medical examination[英]
serious[英]
life span[英]
average length of life, mean life[英]

平均余命	average expectation of life, mean life expectancy[英]
余命	life expectancy[英]
診察、診査	examination[英]
	視診、触診、打診、聴診の4つの方法によって診察する方法を、身体的検査(physical examination)という。これらのみでは不十分な時には、種々の臨床検査を行うことになる。
視診	inspection[英]
触診	palpation[英]
	指触法
	finger palpation[英]
	掌触法
	palm palpation[英]
打診	percussion[英]打診音には、清(clear)、濁(dull)、共鳴音(resonant tone)、濁音(dullness)、鼓音(tympanitic tone)、振動濁音(shifting dullness)などがある。
	auscultation[英]
聴診	auscultation[英]
診断	diagnosis (Dx)[英] Diagnose (Diag)[独]
理学的診断	physical diagnosis[英]
臨床診断	clinical diagnosis[英]
鑑別診断	differential diagnosis[英]
確定診断	definite diagnosis[英]
除外診断	diagnosis by exclusion[英]
病理診断	pathological diagnosis[英]
遺伝子診断	gene diagnosis[英]
	1997年9月1日現在で高度先進医療に承認されている遺伝子診断として、①造血器腫瘍のDNA診断②溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法③固形腫瘍のDNA診断④進行性筋ジストロフィーのDNA診断⑤性腺機能不全の早期診断法の5つがある。①は最も多くの施設(15施設)で認められている。これは白血病細胞中のキメラ遺伝子をPCR法で検出するものが大半を占めている。顕微鏡的には検出できない微量の残存病変の有無を調べるのが中心だが、遺伝子の異常から病態を解析することにも使われている。次に多いのが③で、6施設が承認されている。適応とされている固形腫瘍は胃癌や大腸癌、膵臓癌と様々だが、これも顕微鏡による病理検査では検出が不可能であった微量の腫瘍細胞をK-rasやp53などの腫瘍関連遺伝子の変異などから検出するのが主な目的である。腫瘍のリンパ節転移の有無の判定などに有効である。
	①と③については横浜市大附属病院でも認められている。
診断書	medical certificate[英]
スクリーニング	screening[英]ふるい分け、選別
生存率	survival rate[英]
5年生存率	five year survival rate[英] (略)5生
生存曲線	survival curve[英]
精密検査	detailed examination[英]
前駆症状	prodrome[英] Prodromalsyptom[独]
増悪	exacerbation[英]
退院記事	discharge note, discharge summary[英]
他科受診用紙	consultation sheet[英]
治癒	cure, healing[英]
転帰	exitus(outcome)[英]疾病の経過の帰趨 (例)全快(permanent cure)、軽快(improvement)、不変(no change)、死亡(death)など
難治性の	intractable[英]
年齢	years old (Y/O), year (Yr)[英]
フォローする	follow up(フォローアップ)[英]追跡調査、経過観察
不定愁訴	unidentified complaints[英]
	①主観的訴えである。
	②愁訴が多彩である。
	③他覚的所見に比し、不相応に自覚症状が強い。
	④愁訴の質的变化や数的変化がみられやすい(症候移動)。

プラトー plateau[英]平坦
臨床では、患者の症状や治療効果が変化なく同じ状態であることを意味する。

ポリコン poly complaint[英]訴えの多い患者さんのこと。

問診 inquiry[英]

予後 prognosis[英]疾病の経過や転帰を予知すること。

可良 favorable, good risk[英]

生命予後 vital prognosis[英]

不良 infavorable, poor[英]回復の見込みのないこと。

予約診療 consultation by appointment[英]

(4) インフォームド コンセント
医学指示拒否
インフォームド コンセント

against medical advice (AMA)[英]

informed consent (IC)[英]説明されたうえでの同意(患者の了解)
基本的にインフォームド・コンセントとは医療側が、診断や治療にあたって患者に下記の内容を伝え、患者がそれを理解、納得、同意し、治療に参加することをいう。その内容は、①診断の結果に基づいた患者の現在の病状を正しく患者に伝える、②治療に必要な検査の目的と内容を患者にわかる言葉で説明する、③治療の危険性の説明、④成功の確率の説明、⑤その治療処置以外の方法があれば説明する、⑥あらゆる治療を拒否した場合にどうなるかを伝える、等であり、単に伝えるだけではなく、患者が理解したことを確認しなければならない。

告知(癌の)

truth telling[英]回復の見込みがなく、間近な死を避けがたい患者と家族に、医師が病名と病状を告げる(インフォームド・コンセントすること)。

がんの告知について国立がんセンター東病院の調査では、4人に3人(75%)が告知を望んでいることが分かった(1996年10月発表)。

◇患者が「死の告知」を受けた時の心理面について、アメリカの精神科医キューブラー・ロスの研究³⁹⁾がある。告知を受けた患者は、①衝撃、②(病気の)否認、③怒り、④(死の苦痛を先延ばしにするための)取引、⑤抑うつ状態、⑥(死の)受容、という段階的な反応を示すという。

手術同意書
セカンド オピニオン

operative permission, operation permit[英]

second opinion[英]第二の意見

患者本人の医療情報を得る過程で診断を受けた医師と異なった医師の意見を求めること。セカンドオピニオンは、医療先進諸国では定着し、患者の医療処置の方針への参加の積極的な表現として「インフォームド・チョイス(情報を十分に得た上での選択)」という用語も一般化している。

病識(びょうしき)

insight into disease[英]病者が自ら病気であることを認識すること。これは、身体病においてさえ完全ではなく、精神病になるとはなはだ困難となる。

ムンテラ

Mundtherapie[独]病状説明、説得療法、暗示療法

一般には医師または看護婦が患者および家族に対し、診断、治療について説明すること¹⁾。

Mund[独]口 Therapie[独]治療 (同) logotherapy

(5) ターミナルケア
緩和ケア

palliative care[英]緩和ケアは、ホスピスケア(hospice care)の哲学を核とし拡大したものである。1996年10月には国際疾患分類の新たな診断コードとして認知された。

【緩和ケアの概念】(NHOによる)

①生きることを尊重し、だれにも例外なく訪れる死への過程に敬意を払う②死を早めることも死を遅らせることもしない③疼痛やその他の苦しく不快な諸症状のコントロールを行う④精神・心理的ケア、社会的ケア、スピリチュアルケア(spiritual care)を行う⑤死が訪れるまで患者が積極的に生きていけるような支援を行う

尊厳死

う⑥患者の療養中から死別した後まで家族の苦難への対処を支援する。 *NHO:National Hospice Organization
death with dignity[英]尊厳死とは、死に直面した末期患者が、延命目的の治療行為を拒み、自らの意志で死を迎えようとする考え方。生前から自らの意志を書面で明確にするリビング・ウィルを広める運動がある。1981年にリスボンで世界医師総会が開催され、患者の権利として「尊厳死の権利」を認めるリスボン宣言が採択された。この中の1項目に「患者は、尊厳をもって死を迎える権利を有する」とある。
日本では日本尊厳死協会(〒133 東京都文京区本郷2丁目29-1 渡辺ビル202, TEL03-3818-6563)が活動している。

ターミナル

terminal stage, terminal period[英]末期、終末期
現代医療において可能な集学的治療の効果が期待できず、積極的治療がむしろ不適切と考えられる状態で、生命予後が6カ月以内と考えられる段階。

ターミナル ケア

terminal care[英]終末期医療、末期患者の看護
「患者がその生の終わりを住みなれた愛する環境で過ごすことを許されるならば患者のために環境を調整することはほとんどいらない。家族は彼をよく知っているから鎮痛剤の代わりに彼の好きな一杯のブドウ酒をついでやるだろう。家で作ったスープの香りは、彼の食欲を刺激し、2さじか3さじ液体がノドを通るかもしれない。それは輸血よりも彼にとっては、はるかにうれしいことではないだろうか。」(アメリカの精神科医キューブラー・ロス³⁹⁾)

ナチュラル コース

natural course[英]自然経過
ターミナルケアで積極的に治療をしないこと²⁹⁾。

ホスピス

hospice[英]緩和ケア病棟。臨死患者のためのケア施設。主に末期癌患者を収容する。

リビング ウィル

◇ hospice は、ラテン語の hospitium(ねぎらう)に由来する言葉で、hospitality, hospital, hotel などと同じ語源からきている²⁴⁾。

living will[英]生前発効遺言、尊厳死選択遺書、尊厳死を希望する末期患者の遺言状、生前の意志表示。

D N R

将来自分が意思決定能力を失ったときに備えて、自分が行ってもらいたい医療内容について、前もって意志表示すること。

Do Not Resuscitate[英]急変しても挿管や心マッサージなどの処置をしない。敢えて邦訳すれば「心肺蘇生禁止」²⁴⁾。

(関)cardiopulmonary resuscitation (CPR)[英]心肺蘇生術

(6) カルテの略語

avg

average[英]平均

C a

circa[ラ]約

L / D

laboratory data[英]臨床検査値、ラボデータ

N Y D

not yet diagnosed[英]未診断

R / O, R O

rule out[英]除外

S / P

status post[英]～後状態

Stat

statim[ラ]ただちに(実施すべき)、一度に

U L N

upper limits of normal[英]正常値の最高

W N L

within normal limits[英]正常範囲内

(7) S O A P

P O M R

problem oriented medical record[英]問題志向型診療記録
1964年に米国のDr. Weedが医師や医学生の治療と医学教育のために考え出した診療記録の様式である。彼は、医療とは患者の持つ問題に焦点をあて、その問題を解決することによってよりよい患者ケアを提供するものであり、そのためには、患者の問題のひとつひとつについて論理的に考え、分析・総合しながら解決方法を見出し、計画的に実行し、評価するという一連の過程を、医師・看護婦およびすべての医療従事者の協同作業によって、より科学的に進めるべきであるとした。この方法を彼の新しい医療シ

システム(POS:problem oriented medical system問題志向型医療システム)として提唱し、この過程にそって記録しようとするものである。それぞれの問題についての経過状況は SOAP の形式にしたがって整理し記載される。

SOAP

(S)

Subjective Objective Assessment Plan[英]叙述的経過ノート

Subjective[英]主観的所見

患者本人、家族などから得た主観的情報。

(O)

Objective[英]客観的所見

専門家が観察した結果、あるいは検査から得た客観的情報。

(A)

Assessment[英]評価

上記の二つから引き出された結論、すなわち問題に対する判断または査定。

(P)

Plan[英]計画

判断に応じた計画。

第5章. 治療方針

遺伝子治療	gene therapy[英]
インオペ	inoperable[英]手術不可能の状態をいう。
オペ	operation[英]手術 Operation(オペラチオン)[独]
オペレーター	operator[英]手術者
外来手術	day surgery, ambulatory surgery[英]
外来治療	ambulatory treatment[英]
拡大手術	extended operation[英] 手術は“広汎切除”“摘出”“拡大”などから、“機能温存” “縮小”“形成”“臓器移植”“人工臓器”“内視鏡下手術”な どへと進展し、“切除の外科”から“修復、温存、低侵襲の外 科”へと展開しつつある。
外科的侵襲	surgical stress[英]
外科的療法	surgical treatment[英]
救急手術	first aid operation, emergency operation[英]
コントラ	contraindication[英]禁忌(きんき)、適応のないこと。 患者や病気によって使えない薬や、できない処置のこと ²⁹⁾ 。
コンプリケーション	complication[英]合併症
在宅治療	domiciliary treatment[英]在宅医療の項参照。
集学療法	multidisciplinary treatment[英]外科療法・放射線療法および 抗癌化学療法・免疫療法・ホルモン内分泌剤療法のすべてを組み 合わせた治療。
縮小手術	limited operation[英]
術後	postoperative (PO)[英]
術後合併症	postoperative complication[英]
術後管理	postoperative management[英]
	◇ 手術と水分 手術侵襲時には、体内の水分分画に変動が起こる。経口水分摂取 が制限されるためと、各種滲出液および各種体液の喪失などによ る脱水と、体内の水分の移動が起こるためである。水分の移動と は、手術創および周囲組織への浮腫や、臓器へのうっ滞、微小循 環障害、低酸素血症による細胞の膨化などによる水分の貯留によ るもの(非機能的細胞外液相 third space)である。細胞外液がこ のような部分に貯留すると機能的細胞外液は減少し、等張性脱水 となる。この侵襲時の内分泌系の変動は、third space への水分 の移行により機能的細胞外液量が減少し、レニン-アルドステロ ン系およびADHの分泌が亢進し、体内にNa、水を保持するよう に作用する。このため尿量は減少し、尿中へのNa排泄も減少す る。この場合、機能的細胞外液量が減少するので、その不足分を 細胞外液補充液で補えば恒常性は保たれる。術後3日目頃より、 third space より機能的細胞外液相に水分が戻ってくるが、この 頃より利尿が盛んになるため細胞外液の総量は正常範囲に保たれ る ⁴⁹⁾ 。
術後経過	postoperative course[英]
術後処置	postoperative care[英]
術前	preoperative[英]
術前評価	preoperative evaluation[英]
術前回診	preoperative round[英]
手術	operation[英]
手術危険度	operative risk, surgical risk[英] homeostasis のための予備力が十分にあり、手術侵襲にも十分耐 えられると判断できる場合は、surgical risk “good”の場合であ る。どこかに障害があり、手術前にそれを処置により正常にもち きたすことができない場合には、“fair”、さらには“poor”という ことになる。そうした時には、手術の危険度が増す。
手術記録	operative note, operation record[英]
手術侵襲	operative stress[英]外科的侵襲により起こる生体反応は、①侵 襲を受けた直後の emergency の時期には、循環系の homeostasis

	を保ち、生命の保全のためにエネルギーが使われる方向に働き、その後は②創傷の治癒と、③全身の homeostasis の保全の方向に反応が起こるものとみてよい。
手術を受ける	have (undergo, go through) an operation[英]
リオペ	reoperation[英]再手術
ストラテジー	strategy[英]戦略
セラピー	therapy[英](病気の)治療、療法(薬を用いたり手術をしないもの)
	treatment[英]治療 medical cure[英]治療
アニマルセラピー	animal therapy[英]動物との交流による心理療法。 難病の子供が、最期の夢に、と選んだのがドルフィンスイムで、実際にその夢が叶ったときから、病気の進行が止まっているという。それはつまり、「イルカと泳ぎたい」と願う気持ちが自然治癒力を目覚めさせたのではないかと考えられる。
アロマセラピー	aromatherapy[英] aromatherapie[仏]アロマセラピー アロマは芳香の意味であり、芳香療法と訳される。
安静療法	rest treatment[英]
運動療法	exercise therapy[英]
音楽療法	music therapy[英]
温熱療法	hyperthermia, thermotherapy[英]
化学療法	chemotherapy[英]
芸術療法	art therapy[英]俳句や短歌をつくる、絵を描く、歌を歌うなどが高齢者や災害の被災者の社会復帰に役立つと注目されている。
姑息療法	palliative treatment[英]
根治療法	radical treatment[英]
作業療法	occupational therapy (OT)[英]
精神療法	psychotherapy[英]
対症療法	symptomatic therapy[英]
超音波療法	ultrasonic therapy[英]
放射線療法	radiotherapy[英]
理学療法	physical therapy (PT)[英]
早期手術	immediate operation, early operation[英]
即日退院手術	come-and-go surgery, in-and-out surgery, day surgery, same-day surgery[英]
大手術	major operation[英] (反)minor operation[英]小手術
たたく	抗がん剤などで治療をするときに言うことが多い ²⁹⁾ 。
ファーストチョイス	first choice[英]一次選択
プレー	pre-[英]前
ポスター	post-[英]後
ラウンド	doctor's round of visit, 'doctor's rounds, routine round of a doctor's call on inpatients[英]回診
臨床術式	clinical technique[英]
臨床成績	clinical performance[英]